バニリン・硫酸・エタノール発色試液　バニリン３g（2.5～3.4g）に無水エタノールを加えて溶かし、100mLとした溶液に、硫酸３mLを加える。
パパイン消化大豆　大豆たん白をパパインを用いて酵素分解したものである。適当な市販品を用いる。
パパイン消化肝臓　雄牛の肝臓をパパインを用いて酵素分解したものである。適当な市販品を用いる。
パラオキシ安息香酸第二ブチル　$HOC_6H_4CO_2CH_2CH(CH_3)_2$　白色～淡黄白色の結晶性の粉末で、臭いはない、又は僅かに特異な臭いがある。
溶状　本品0.5g（0.45～0.54g）をアセトニトリル10mLに溶かすとき、溶液は、無色～淡黄色で、澄明で、異物を認めない。
融点　59～61℃
パラオキシ安息香酸ブチル　$HOC_6H_4CO_2CH_2CH_2CH_2CH_3$〔日局〕
パラクレゾール　$C_6H_4(OH)CH_3$〔特級〕
パラフィン、流動　〔軽質流動パラフィン、日局〕
バルビタール緩衝液　バルビタールナトリウム15g（14.5～15.4g）に水700mLを加えて溶かし、希塩酸を加えてpH7.6とした後ろ過する。
バルビタールナトリウム　$C_8H_{11}N_2NaO_3$　白色の結晶又は結晶性の粉末で、臭いはなく、味は苦い。水に溶けやすく、エタノールに溶けにくく、エーテルにほとんど溶けない。
pH　本品の水溶液（１→200）のpHは、9.9～10.3である。
乾燥減量　1.0%以下（１g，105℃，４時間）
含量　98.5%以上
定量法　本品を105℃で４時間乾燥し、その約0.5gを0.001gの桁まで量り、その数値を記録し、分液漏斗に入れ、水20mLを加えて溶かし、エタノール５mL、希塩酸10mLを加え、クロロホルム50mLで抽出する。更にクロロホルム25mLで３回抽出し、全クロロホルム抽出液を合わせ、水５mLずつで２回洗い、洗液はクロロホルム10mLずつで２回抽出し、前後のクロロホルム抽出液を合わせ、三角フラスコ中にろ過する。ろ紙をクロロホルム５mLずつで３回洗い、ろ液及び洗液を合わせ、エタノール10mLを加え、0.1mol/L水酸化カリウム・エタノール溶液で滴定する（指示薬　アリザリンエローGG・チモールフタレイン試液２mL）。この場合において、滴定の終点は、溶液の黄色が淡青色を経て紫色に変わるときとする。同様の方法で空試験を行い補正する。
0.1mol/L水酸化カリウム・エタノール溶液１mL＝20.62mg$C_8H_{11}N_2NaO_3$
バレイショデンプン〔日局〕
パントテン酸カルシウム　$Ca(C_9H_{16}NO_3)_2$〔日局〕
pH測定用四シュウ酸カリウム　四シュウ酸カリウム、pH測定用の項に定める。
pH測定用水酸化カルシウム　水酸化カルシウム、pHpH測定用の項に定める。
pH測定用炭酸水素ナトリウム　炭酸水素ナトリウム、pH測定用の項に定める。
pH測定用炭酸ナトリウム　炭酸ナトリウム、pH測定用の項に定める。
pH測定用フタル酸水素カリウム　フタル酸水素カリウム、pH測定用の項に定める。
pH測定用ホウ酸ナトリウム　ホウ酸ナトリウム、pH測定用の項に定める。
pH測定用無水リン酸一水素ナトリウム　リン酸一水素ナトリウム、無水、pH測定用の項に定める。
pH測定用リン酸二水素カリウム　リン酸二水素カリウム、pH測定用の項に定める。
d-ビオチン、定量用　*d*-ビオチン製造用原体。ただし、定量するとき、*d*-ビオチン（$C_{10}H_{16}N_2O_3S$）99.0%以上のものに限る。
ヒ化水素吸収液　ジエチルジチオカルバミン酸銀0.50g（0.495～0.504g）をピリジンに溶かし、100mLとする。この溶液は、遮光した共栓瓶に入れ、冷所に保存する。
ピクリン酸　$HOC_6H_2(NO_2)_3$〔２，４，６-トリニトロフェノール（ピクリン酸）、特級〕
密閉し、火気を避けて冷所に保存する。
ピクリン酸試液　ピクリン酸１g（0.5～1.4g）に熱湯100mLを加えて完全に溶解した後、冷却し、必要ならば、ろ過する。
ピクリン酸・トルエン試液　ピクリン酸0.20g（0.195～0.204g）に無水トルエンを加えて溶かし、1,000mLとする。
ピクリン酸ナトリウム　$(NO_2)_3C_6H_2ONa・H_2O$〔特級〕
ピクリン酸ナトリウム試液　ピクリン酸ナトリウム0.4g（0.35～0.44g）及び水酸化ナトリウム４g（3.5～4.4g）に水を加えて溶かし、1,000mLとする。
ヒ酸二ナトリウム　$Na_2HAsO_4・7H_2O$〔特級〕
ヒ酸二ナトリウム試液　ヒ酸二ナトリウム6.0g（5.95～6.04g）に水を加えて溶かし、50mLとする。
非水滴定用酢酸第二水銀試液　酢酸第二水銀試液、非水滴定用の項に定める。
非水滴定用氷酢酸　酢酸、氷、非水滴定用の項に定める。
ヒ素モリブデン酸試液　モリブデン酸アンモニウム50g（49.5～50.4g）を量り、水900mLを加え、加温して溶かし、放冷した後、硫酸42mLを全量ピペットを用いて加え、さらに、ヒ酸二ナトリウム試液50mLを加えた後、1,000mLの全量フラスコに入れ、水を標線まで加えて1,000mLとし、37℃で一昼夜放置する。
ヒドロキシセンデュラマイシンナトリウム　$C_{45}H_{75}O_{17}Na$　白色の結晶性の粉末である。
純度試験　本品１g（0.5～1.4g）を量り、メタノール１mLを加えて溶かし、この溶液５μLを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に、酢酸エチル・氷酢酸混液（４：１）を展開溶媒として、約10cm展開した後、薄層板を乾燥する。これにバニリン・硫酸・エタノール試液を噴霧した後、105℃で10分間加熱するとき、Rf値約0.5の位置に赤褐色の単一のスポットを認め、その他のスポットを認めてはならない。
２-ヒドロキシ-*m*-トルイル酸　$CH_3C_6H_3(OH)COOH$　白色～微赤色の結晶性の粉末である。エタノールに溶けやすく、水に溶けにくい。
融点　163～170℃
氷酢酸　酢酸、氷の項に定める。
氷酢酸、非水滴定用　酢酸、氷、非水滴定用の項に定める。
ビスマス酸ナトリウム　$NaBiO_3$〔特級〕
ピリジン　C_5H_5N〔特級〕
ピリジン、カールフィッシャー用　一般試験法の水分定量法に定めるところによるものとする。
ピリジン、無水　C_5H_5N　ピリジン100mLに水酸化ナトリウム10g（9.5～10.4g）を加え、24時間放置した後、上澄液を傾斜してとり、蒸留する。
ピロール　C_4H_5N〔特級〕
ピロアンチモン酸カリウム　$K_2H_2Sb_2O_7・4H_2O$〔１級〕
ピロアンチモン酸カリウム試液　ピロアンチモン酸２g（1.5～2.4g）に水100mLを加え、約５分間煮沸した後、30秒以内に冷却し、これに水酸化カリウム溶液（３→20）10mLを加え、１日間放置してろ過する。
ピロガロール　$C_6H_3(OH)_3$〔特級〕
フィチン酸ナトリウム　$C_6H_6O_{24}P_6Na_{12}・nH_2O$〔コメ由来、含量90%以上〕
o-フェナントロリン　$C_{12}H_8N_2・H_2O$〔特級〕
o-フェナントロリン試液　*o*-フェナントロリン0.15g（0.145～0.154g）に新たに調製した硫酸第一鉄溶液（37→2,500）10mL及び希硫酸１mLを加えて溶かす。密栓して保存する。
フェニルヒドラジン　$C_6H_5NHNH_2$〔特級〕
フェノール　C_6H_5OH〔日局〕
フェノールフタレイン　$C_{20}H_{14}O_4$〔特級〕　変色範囲pH（無色）8.3～10.0（紅色）